

「第12回 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園 最終審査」 毎日新聞 (2014年1月18日付) 掲載

2014/01/20

グランプリ BBQを便利にするアイデア

ひと夏試作くり返し

愛知県立豊橋工業高3年豊橋工業部研究員3
伊藤友一、野村裕太、小川雄真、藤山裕紀、大野可也



このアイデアは、夏休みのBBQを便利にするためのアイデア。BBQの準備作業を軽減し、より楽に楽しむことができるように設計された。具体的には、食材の準備や調理の工程を簡便化し、持ち運びも容易にする。また、環境にも配慮した素材を使用している。

独創性と気概に満ちて

第12回全国高等学校

ビジネスアイデア甲子園

審査委員のコメント 発表の場でも高評価

審査委員の皆さんは、各作品の発表を大変興味を持って聞いてくださいました。発表の場でも高評価をいただき、審査員も大変満足しています。審査員も大変満足しています。審査員も大変満足しています。

視界助け安全
岡山県立岡山南高1年 松本夏実

このアイデアは、視覚障害者の安全を確保するためのアイデア。歩行時に周囲の状況を確認できるように設計された。具体的には、音声による警告や振動による知らせなどを使用している。

母のイライラから
大阪府立大津高2年 白坂希樹

このアイデアは、母親のイライラを軽減するためのアイデア。子供が母親のイライラを察知できるように設計された。具体的には、母親の表情や声調を感知し、子供に知らせる仕組みになっている。

生徒の可能性も発見

本校は、生徒の可能性を発見するための取り組みを行っています。様々な分野でのアイデアを募集し、審査を行っています。審査員も大変満足しています。審査員も大変満足しています。

本校の取り組み

本校は、生徒の可能性を発見するための取り組みを行っています。様々な分野でのアイデアを募集し、審査を行っています。審査員も大変満足しています。審査員も大変満足しています。

高校生が斬新なアイデアを競う「第12回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」(大阪商科大学、毎日新聞社主催)の最終審査と表彰式が12月14日、東大阪市の大阪商科大学で行われた。最終審査に挑んだ7名の各チームがプレゼンテーションを行い、グランプリ1件、準グランプリ2件、審査員特別賞4件が贈られた。記念講演では、東大阪市の若手職員のタカセリ一雄氏による「サングレスト」の製造現場を視察した。

選ぶ側をも試す力作

審査員も大変満足しています。審査員も大変満足しています。審査員も大変満足しています。

記者会見 ヒット商品の作り方

サングレスト社長 植田典

このアイデアは、視覚障害者の安全を確保するためのアイデア。歩行時に周囲の状況を確認できるように設計された。具体的には、音声による警告や振動による知らせなどを使用している。

こだわりと信念

このアイデアは、視覚障害者の安全を確保するためのアイデア。歩行時に周囲の状況を確認できるように設計された。具体的には、音声による警告や振動による知らせなどを使用している。